

Oct. 2022

IKAGAKU Support News



Contents

第1回 利用者会を開催しました

実習・説明会を開催しました

動物実験施設より

コラム

他

鳥の名前を
知っていますか？

こたえは
次のページ

目次

第1回 医科学研究支援部門利用者会を開催しました	・・・ 1
実習・説明会を開催しました	・・・ 2~3
吸光プレートリーダーを新規設置しました	・・・ 4
マイクロプレートリーダーの利用を停止します	・・・ 5
超低温冷凍庫内のサンプル整理をおこないました	・・・ 6
動物実験施設より	・・・ 7~9
スズメバチの駆除がおこなわれました	・・・ 10
コラム	・・・ 11



表紙の写真：キセキレイ

感染防御学 松本 哲

地面を小走りに移動し、止まっているときは長い尾を上下に振っている、全長（クチバシの先端から尾羽の先端まで）約20cmの白黒のスマートな鳥を見かけたことはないでしょうか？

水辺を中心に生活しており、昆虫等をとっていますが、小魚を食べることもあります。

愛媛県では3種類のセキレイを年間を通して目にすることができ、重信キャンパス内でも見られます。季節や性別で見た目が少し変わりますが、見分けることは簡単にできます。

<キセキレイ>

頭上や背が青灰色でハクセキレイに似ているが、腰の部分の黄色が特徴。眉斑（目の上にある眉状に見える線）が白く、頬が青灰色であり、頬の白いハクセキレイとは簡単に区別できる。またキセキレイの足の色は橙色で、セグロセキレイ・ハクセキレイの足は黒色。河川の上流域でよく見かけるが、警戒心が強く近づくことは難しい。

<セグロセキレイ>

頭部から胸、背が黒色で、冬羽では背が灰色を帯びることがある。眉斑が白く、頬が黒色であればセグロセキレイと判断できる。日本固有種で、キセキレイよりは近づける。

<ハクセキレイ>

多くの亜種があり、亜種の識別は双眼鏡を必要とするが、キセキレイ、セグロセキレイとの識別は肉眼でも可能である。頭部、背が黒色もしくは灰色でセグロセキレイに似るが、額から頬が白色、過眼線（目を中心に前後方向に入る線状の模様）が黒色と、顔が白っぽいのが特徴。市街地等ではヒトを恐れない個体が多い。



キセキレイ



セグロセキレイ



ハクセキレイ

第1回 医科学研究支援部門 利用者会を開催しました

日時 : 2022年10月20日(木) 17:00~
場所 : 医学部基礎第1講義室

第1回 医科学研究支援部門利用者会にご参加下さいまして有難うございました。

利用者会のスライド資料をHPに掲載しました(学内限定ページ)。

<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/03/limit03/post-33.html>

「P1実験室利用申請書」及び「研究設備受入申請書」も様式をHPに掲載しました。当部門のページからダウンロード可能です。
<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/03/post-15.html>

今後とも当部門の運営にご指導並びにご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

ご質問等、御座いましたら以下の問い合わせ先までご連絡下さい。

【お問い合わせ窓口】 [ikagaku-support@\[m.ehime-u.ac.jp](mailto:ikagaku-support@[m.ehime-u.ac.jp)

※[@]を半角のアットマークに置き換えてください



当日の様子

実習・説明会を開催しました（1/2）

【感染症研究支援分野】

「フローサイトメトリー法実習」を開催しました。

日時：令和4年8月10日（水）9：00～17：00

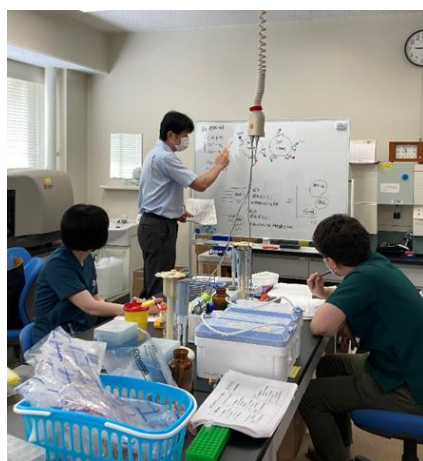
場所：フローサイトメトリー室1

講師：愛媛県立医療技術大学 教授 山田 武司 氏

ベックマンコールター株式会社 長坂 安彦 氏

内容：細胞表面マーカーの染色、リンパ球分離、細胞周期解析

学内から2名の大学院生が参加しました。実際に手を動かして、細胞の前処理を行い、センターに設置されているフローサイトメーター Gallios で測定しました。参加者からは、複数の解析が行えてよかった、との声をいただきました。



実習の様子

【教育支援分野】

「共同利用機器予約システム説明会」を開催しました。

日時：令和4年9月29日（木）15：00～16：30

開催形態：オンライン（Teams）

講師：セキ株式会社 柳原 宏 氏

共同利用機器予約システムの使い方について一般利用者向け、支払責任者向けにそれぞれご説明いただきました。

以下、部門HPの「利用について」から動画をご覧ください（学内限定ページ）。

「利用について」

<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/03/post-15.html>

実習・説明会を開催しました（2/2）

【RI 実験施設】

「第6回 看護学生のための放射線講習会」を開催しました。

開催の趣旨：将来医療現場で放射線を扱うことが予想される看護学生に、放射線に関する基本的な事項を学習する機会を提供する

日時：令和4年8月25日（木）13：00～17：00

会場：愛媛大学医学部 機能系実習室1

講師：学術支援センター RI実験施設 放射線取扱主任者 岩崎 智之 氏
附属病院 診療科放射線科 医師 高田 紀子 氏
附属病院 中央診療施設放射線部 主任技師 本田 弘文 氏
附属病院 看護部 副看護師長 橋本 君代 氏

対象：愛媛県内の看護学生

参加人数：21名（参加校2校）

学術支援センター医科学研究支援部門のRI実験施設スタッフがメインとなり、学術支援センター放射線教育支援室主催で県内の看護学生を対象に、放射線に関する講義及び実習を行いました。

参加者のアンケートからは、「看護師の視点からの講義会ったことによって自分の理解につながる事ができた」「講義を通して看護師が被ばく予防で工夫していることなどを中心に理解できたので良かった」「今回の講義での学びをこれからも深めていきたいと思う」など多くの好意的な意見があり、放射線を通して県内の看護教育に少しでもお役に立てたのであれば幸いです。



実習の様子

吸光プレートリーダーを新規設置しました

【オミックス研究支援分野】

吸光マイクロプレートリーダー Multiskan SkyHigh (Thermo Fisher) を新規購入し、分析機器室 3 に設置しました。
予約システムからご予約の上、ご利用いただけます。

付属の μ Drop™ Duo plate をお使いいただくと 2~10 μ l の少量サンプルも32個まで同時に測定が可能です。

装置の見学や利用をご希望の際は、職員よりご説明いたしますので下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

【お問い合わせ窓口】 [ikagaku-support\[@\]m.ehime-u.ac.jp](mailto:ikagaku-support[@]m.ehime-u.ac.jp)
※[@]を半角のアットマークに置き換えてください



吸光マイクロプレートリーダー
Multiskan SkyHigh (Thermo Fisher)



付属の μ Drop™ Duo plate
2~10 μ l の少量サンプルを
同時に32個まで測定が可能です。

マルチプレートリーダー FlexStation3 の 利用を停止します

故障により代替機となっているマルチプレートリーダー FlexStation3 について、修理費予算の都合上、一旦利用停止することとなりました。

(詳しい日程は未定ですが、11月中には代替機を返却する予定です。)

ご不便をおかけし、大変申し訳ありません。

お使いのモードによっては別の機器でも測定が可能です。

吸光：吸光マイクロプレートリーダー Multiskan SkyHigh (分析機器室 3)

発光：ルミノメーター Glomax (分析機器室 3)

蛍光：医化学講座よりお借りした以下の蛍光プレートリーダーを
分析機器室 2 に設置しています。

<装置情報>

- ・モデル：infinite F200 (Tecan)
- ・測定モード：上方・下方 蛍光測定 フィルター形式 (4種)
- ・搭載フィルター：1 Ex 360nm Em 465nm
2 Ex 485nm Em 535nm
3 Ex 535nm Em 590nm
4 Ex 320nm Em 380nm
- ・その他 時間分解蛍光TRF
…Lag timeとIntegration timeを設定することで測定可能です。
TR-FRET…装置の感度が十分でないため、測定は難しいです。
蛍光偏光…専用フィルターが搭載されておりません。

こちらの蛍光プレートリーダーは予約システムには掲載していません。

装置の見学や利用をご希望の際は、職員よりご説明いたしますので下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

【お問い合わせ窓口】 [ikagaku-support\[@\]m.ehime-u.ac.jp](mailto:ikagaku-support[@]m.ehime-u.ac.jp)
※[@]を半角のアットマークに置き換えてください

超低温冷凍庫内の サンプル整理をおこないました

【教育支援分野】

超低温冷凍庫のサンプル整理と緊急避難先としての利用について

当部門に設置されていた旧縦型REVCOの超低温冷凍庫が経年劣化により本来の性能を発揮できなくなったため、廃棄処分とし、これを機にすべての超低温冷凍庫を整理しました。

皆様に7月末までにサンプル整理をして頂くよう各講座にメールでお知らせし、サンプルにお名前、講座名のあるものは直接確認して頂き、8月末までにサンプル整理が完了しました。ご協力有難うございました。

新たに購入した縦型Thermoは各講座1引き出しの貸出としました。横型Panasonic（2台）は、各講座の超低温冷凍庫が故障時の緊急避難先として準備しております。故障の際には担当者までご連絡ください（休日や夜間の場合は避難後でも構いません）。現在、1講座が緊急避難で利用中です。

【お問い合わせ窓口】 [ikagaku-support\[@\]m.ehime-u.ac.jp](mailto:ikagaku-support[@]m.ehime-u.ac.jp)
※[@]を半角のアットマークに置き換えてください

各講座1引き出し貸出用
縦型 Thermo



緊急避難用
横型 Panasonic



動物実験施設より（1/3） （旧 Animal Center News）

◆モニター動物の定期モニタリングを実施致しました

動物実験施設では年に4回のモニター動物検査を実施しており、今回9月度は年に1回の実験動物中央研究所でのモニター動物検査を行いました（3月度・6月度・12月度はELISAによる自家検査）。

221飼育室でラット盲腸蟯虫の陽性が確認されましたが、それ以外はマウスおよびラットの全部屋・全項目において陰性でした。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/04/bumon/14/result.html>

221飼育室に関しては早期終息に向けた対応に早速取り掛かっており、この後の項で詳細にご報告させて頂いております。

今後も定期的な検査を通じて衛生管理を徹底して参りますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆モニターラットにおける盲腸蟯虫の陽性確認とその後の対応に関して

前項でも記述した通り令和4年9月度の実験動物研究所における定期モニタリングにおいて、221号室のモニターラットから盲腸蟯虫陽性が確認されました。同室を利用されている先生方に速やかに通知を行った上で、他室への持ち出し停止・共同利用実験室（ラット処置室、行動実験室等）使用停止および再検査のための動物提供にご協力頂き、薬剤投与（パモ酸ピランテル配合飼料の給餌、イベルメクチンの噴霧）による完全な駆虫作業に現在尽力しております。駆虫作業が終わり次第、再度検査を行い、陰性が確認されましたら利用を再開させて頂きますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

◆実習生を受け入れました

令和4年8月および9月に、岡山理科大学獣医学部獣医保健看護学科より3年生2名が実務実習に来てくれました。それぞれ1週間にわたり、当施設における施設運営・飼育管理・胚操作などを体験して頂き、動物実験施設職員としての日常業務・心構え・必要知識などを学んで頂きました。当施設としてはじめての試みではありますが、我々も教える側として初心に戻ってあらためて勉強になることがたくさんあり、今後の人材育成に繋げるためにも前向きに継続していきたいと考えております。

動物実験施設より (2/3) (旧 Animal Center News)

◆令和4年度実験動物体慰霊祭を開催しました

実験動物体慰霊祭が、9月27日(火)に執り行われました。本年度は雨天のため機能系実習室3にて開催となりました。学術支援センター長、副センター長、医科学研究支援部門長らの少人数のみの参列とし、厳かに行われました。また、その他の動物実験関係者に関しましては、午前11時から午後4時まで献花台を設け、各自献花を行っていただきました。

慰霊祭の参列者を含めて合計94名の方が献花され、実験に供された動物を供養いたしました。



(写真)金川部門長による慰霊の辞



(写真)参列者による献花

動物実験施設より（3/3） （旧 Animal Center News）

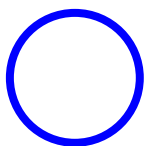
・水漏れ事故防止のためのお願い

平素より気を付けてご利用いただいている方も多いかと思いますが、改めて水漏れ事故防止のために以下をご注意いただきますよう、お願い申し上げます。

自動給水ノズルの先端は、マウスの舌で押したただけで水が出るようになっており、床や壁、餌などのどこかに軽く触れただけでも水が出続けてしまいます。ご利用になる場合には必ずケージの蓋にフックをしっかりとめ込み、ノズルが外れないことをご確認ください。図（1）の「×」のような状態になってしまうとノズルの先端より水が出続け、ケージ内で動物が溺死してしまう恐れがあります。

また、ラックの1番下の段にて使用していないノズルは、構造上床や壁に当たりやすく、ラック内の水が全て枯渇するほどの大規模な水漏れ事故につながる恐れがあります。使用していないノズルは根元から外していただくか、図（2）のように1000 μ l用のチップを装着するとノズルの先端がどこにも付着しなくなります。

水漏れ事故防止のため、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



図（1）

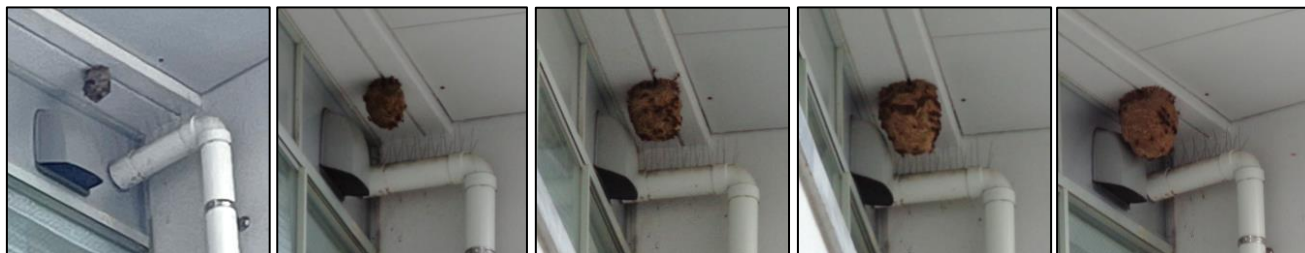


図（2）

キイロスズメバチの駆除がおこなわれました

2022年7月26日 学術支援センター3階、質量分析室の外側にキイロスズメバチの巣が発見されました。

ハチの巣が大きくなっていく様子（写真内のパイプ直径：約11cm）



2022年7月26日
(発見当初)

7月29日

8月10日

8月17日

8月23日
(駆除当日)

2022年8月23日 専門業者（佐伯ビル管理 株式会社 様）による駆除が実施されました。

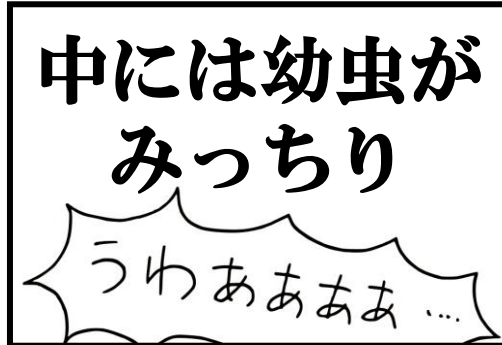


巣を砕きながらビニル袋に回収する様子

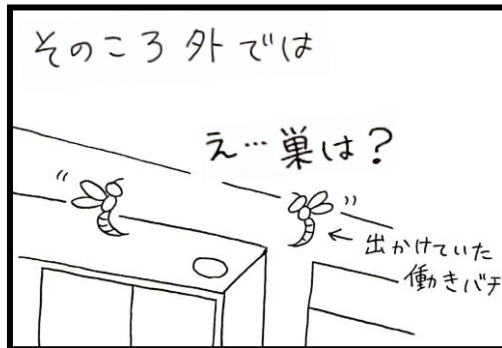
暑い中での作業を本当にありがとうございました！

お願い：スズメバチ等の危険生物をはじめ、施設内や周辺に異常がありましたらすぐに職員にご連絡ください。

スズメバチ駆除 後日談



※ 苦手な方のために
イラストは省略しています。



帰ってきて家がなくなっていたらびっくりしますよね。巣の跡地で右往左往する働きバチからは、そこはかたない哀愁が漂っていました。しかし数日後には（別のファミリーかもしれませんが）同じ場所にまた巣を作り始め、「たくましいものだなあ」と感心しつつ、再び施設課へ駆除依頼をするスタッフ一同でした。（絵・文：芝野郁美）

跡地に作られた新しい巣
(2022年9月12日撮影)



次ページ閲覧注意！！

次のページには高解像度の巣の写真を掲載しています。
(巣と成虫です。幼虫は写っていません)
昆虫が苦手な方はここで PDF を閉じましょう。

裏表紙



キイロスズメバチの巣（8月10日撮影）
（ご提供：感染防御学 松本 哲 先生）

拡大